

東日本大震災 復興支援まつり 2020

原発のない社会へ
未来を拓く

オンライン
online

で被災地とつながろう!

2020
11/14±
12:00~14:00

東日本大震災から9年が経過しました。コロナ禍においても、私たちは「つながりは絶やさない」を2020のテーマとし、復興支援まつりを開催します。被災地と神奈川をオンラインでつなぎ、東北の復興に向けて交流を深めます。

視聴方法

被災地の様子を、
YouTubeでライブ配信します

出演団体の活動内容は、復興支援まつりの特設HPで紹介しています。

※ 全容は特設HPで ※

左記QRコードより
ご覧ください



20団体登場

主なプログラム

参加団体より被災地の現状や活動報告をはじめ、支援団体による演奏・演目をお届けします。



女川町の獅子舞



和太鼓 昇龍による演奏



AWSアカペラプロジェクト

主催 生活クラブ生活協同組合・神奈川

共催 東日本大震災・復興支援まつり実行委員会

構成団体: 神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、NPO法人WE21ジャパン、社会福祉法人いきいき福祉会、神奈川ネットワーク運動、認定NPO法人地球の木、公益財団法人共生地域創造財団、生活クラブ親生会、さんえすクラブ、福祉クラブ生協、横浜北生活クラブ生協、横浜みなみ生活クラブ生協、かわさき生活クラブ生協、湘南生活クラブ生協、さがみ生活クラブ生協

お問い合わせ 東日本大震災・復興支援まつり実行委員会 TEL:045-474-0985

(生活クラブ生活協同組合・神奈川 政策調整部)

オンライン
online

参加団体 離れていてもつながる喜び、新たな出会いと交流
そうしたメッセージを発信することが、被災地の大きな力となります。

11/14(土)は YouTubeを見て応援しよう



復興支援まつりのチャンネル視聴や各団体の動画は、特設HPをご覧ください。



生活クラブの消費材生産者 **重茂漁業協同組合**
おもえ 肉厚わかめ

震災津波で漁協組合員が保有する漁船の98%798隻が流出しました。「ここ重茂で漁業をなりのわいに暮らしている組合員から、1人の脱落者も出してはならない」と結束し、現在の回復にいたります。震災後、組合員のカンパで建造した大型定置操業船(3隻)が大活躍しています。



生活クラブの消費材生産者 **(株)高橋徳治商店**
練り製品

震災により全3工場が全壊しました。被災後新工場落成から7年。多くの人の継続支援で元気に頑張っています。皆で誓った言葉、私達は被災地で力になり笑顔になり光になります。

生活クラブの消費材生産者 **(株)丸壽阿部商店**
まるしゅ

宮城県産牡蠣を、南三陸町で取り扱っています。先人の英知と自然の恵みを大切に、震災後も本物の価値を守っています。



つながりは絶やさない

震災から10年に向けて、ともに生きる未来を創ろう

一般社団法人
**コミュニティスペース
うみねこ**

津波から耐え残った納屋を改装した果樹園Cafe「ゆめハウス」には、人々が集い、交流が生まれています。地域のお母さん、お父さんたちを巻き込み、アイデアあふれる数々の特産品を製作するなど、復興に向けて発信を続けています。

公益財団法人 **共生地域創造財団**

子どもから高齢者まで、地域に住むみんなが支え合い、誰ひとり孤立させない社会でありたい。そうした思いを込めて伴走型支援を行ない、共生社会を目指し活動しています。

NPO法人
シャローム

福島市で授産製品の販売支援や、障害をもつ仲間たちのコンサートの開催など、地域で生きる障害をもつ人々への広範囲な支援をしています。「ひまわりプロジェクト」では全国の人と絆をつくっています。

NPO法人 **Tree Seed**

気仙沼で育った若者が震災を機に「地域の役に立つ時は今」と、泥出しのボランティアを始めました。その後もお年寄りや仮設住宅の住民を対象に活動を継続しています。

